

9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名

各地でこんな取り組みが ③③

2021年8月22日

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

- ◆ **野党共闘山中市政誕生！50万6392票（33.59%）で菅派自公候補（32万5947票・21.62%）に圧勝 横浜市長選**
- ◆ **いよいよ鮮明 無反省 命・暮らし無視 無理強い無反省 無為無策 無思慮 無展望 無責任の“菅コロナ対策”、パラリンピック—民意は「無観客開催もダメ」、「子ども動員とんでもない」、「中止」**
- ◆ **内閣支持率急続落、自民公明支持降下 臨時国会直ちに開け、菅政権退陣！**
- ◆ **命と暮らし最優先に！改憲許すな・憲法いかせ！の大運動を草の根で、総選挙は市民と野党の共同で政権交代！**

各地の取り組みから

北海道 200回目の宣伝・署名、赤紙配布 西区民の会、琴似九条の会
札幌市西区の戦争させない札幌西区民の会は7月29日、9条改憲NO！改憲発議反対緊急署名行動を地下鉄琴似駅前で行いました。この日の行動は、5年間で200回目となる宣伝行動でした。

署名の訴えに、「菅さんは安倍さんより悪い」「“いつか来た道”で心配」などと次つぎ署名が寄せられました。

札幌市西区の琴似九条の会は8月15日、地下鉄琴似駅前、「赤紙」（召集令状）を印刷したチラシを配布し、終戦記念日の宣伝を行いました。「赤紙」は小学校2年の男児から高齢者まで多くの人たちが受け取りました。

チラシを配る人も受け取る人も「戦争をしない国に」「戦争を始めない国に」と言葉を交わす宣伝となりました。

北海道 改憲発議反対！全国一斉行動 オンラインで北海道スタート集会
北海道憲法共同センターは8月2日、「改憲発議反対！全国一斉行動北海道スタート集

会」を札幌会場と道内各地を結ぶオンラインで開き、「改憲ノー、コロナ対策を」の決意を固めあいました。

佐藤博文自由法曹団北海道支部長が「総選挙で市民と野党の共闘の勝利で改憲をストップさせよう」とあいさつ、斎藤耕北海道憲法会議事務局長・弁護士が講演で、改憲手続き法改正強行と問題を指摘、自民党改憲 4 項目の危険性を広く知らせようと訴えました。小室正範同センター事務局長は改憲反対署名が 6 万人を超えたと報告しました。

青 森 3 の日も 9 の日も、終戦の日前後にも **青森県九条の会**

青森県九条の会は8月3日、青森市の駅前公園で、「アベ・スガ政治を許さない」のポスターを掲げてアピールする「3の日行動」を16人が参加して取り組みました。「市民の力で戦争放棄の9条改悪をやめさせよう」「スガ改憲NO!」などのパネルをもち、スピーチではオリンピックの中止、病床確保や感染対策の強化を訴えました。

8月17日には**青森県九条の会**は、青森市の新町商店街で街頭宣伝・署名行動に取り組みました。行動には17人が参加、横断幕やポスターを掲げ、「9条を守ろう」としたティッシュやチラシを配布、9条改憲NO!改憲発議反対緊急署名を訴えました。

「息子3人を戦争になどだしたくない」「太平洋戦争と同じことをくりかえしてはならない」「9条改憲にずっと反対。一度変えたら歯止めが利かなくなる」「9条は変えるのではなく他の国々にも9条の考え方を広げてほしい」などと語って署名に応じました。

青森県九条の会は7月29日にも「9のつく日」の行動として、青森市内で9条改憲NO!改憲発議に反対する全国緊急署名行動に取り組みました。

宮 城 市民と野党が共同の早朝宣伝、集会 **市民連合2区連絡会**

宮城県の**市民連合2区連絡会**は8月5日、仙台駅東口で早朝宣伝を行いました。同連絡会は衆議院宮城2区地域の仙台市宮城野、若林、泉の3区の市民連合で構成されています。

宣伝では、横断幕や旗を立て、ピラをつけたティッシュを配布。リレートークをおこなった市民、立憲民主党、日本共産党の代表は口々に、菅政権が打ち出した医療機関への入院対象を重症者に限るとする方針を批判、「このままでは助かる命も助からない、方針は撤回すべき。こんな政権に国の政治やわれわれの命を任せられない。野党共闘で政権を代えよう」と呼びかけました。

コロナで仕事をなくしハローワークに向かう途中の通行人は、「コロナを早く終わらせてほしい。オリンピックの開催で人が動いた、コロナ拡大への影響は大きい」と述べていました。

宮城2区連絡会は8月9日、仙台市内で集会を開きました。88人が参加しました。

後藤東陽氏のあいさつに続き、山口二郎法政大学教授が「政権交代に向けた市民連合の役割」を講演。「総選挙に向けた共通政策を地域ごとに多様な展開をはかり、市民と野党の共闘を地域から進めてほしい」と訴えました。

福島原発汚染水の海洋放出、コロナで業者に補償でなく力でおさえつけられる業者、貧困の状況などの問題でそれぞれの関係者が報告しました。ふなやま由美日本共産党宮城県委員会副委員長、鎌田さゆり立憲民主党県連副代表、草場裕之市民連合みやぎ呼びかけ人代表、多々良哲同事務局長が発言しました。

東 京 臨時国会すぐ開け、改憲反対、政治を変えよう!

総がかり行動実行委員会・全国市民アクションが国会行動、宣伝行動 戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会と9条改憲NO!全国市民アクションは8月19日、69回目の国会行動「臨時国会ただちに開け!オリパラ強行でなく、いのちと暮らしを最優先に! 憲法改悪反対! 菅政権退陣! 8・19議員会館前行動」を取り組みました。コロナ対策に配慮し、時間短縮、オンラインと併用して開催されました。国会前に300人が集まり、同時視聴者は250人となっています。

参加者は、「いのちを守れ」、「臨時国会ただちに開け」などのプラカードを掲げ、国民の命をないがしろにする菅政権に怒り、市民と野党の共同で政治を変えようと訴え合いました。

司会は菱山南帆子さん（9条壊すな！実行委員会）、主催者あいさつは小田川義和さん（憲法共同センター）、行動提起は竹内広人さん（戦争をさせない1000人委員会）でした。

政党から白真勲参院議員（立憲民主党）、山添拓参院議員（日本共産党）、福島瑞穂参院議員（社会民主党）が参加しスピーチしました。

戦争法強行から丸6年となる次回9月19日の国会行動は、14時から国会正門前で取り組む予定です。

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションは8月18日、新宿駅西口で菅政権がねらう改憲発議に反対する署名・宣伝行動を展開しました。連日5000人を超えるコロナ新規感染者確認状況を踏まえ、参加者は間隔をとって訴えること、参加者全員が手袋着用、対面署名の自粛・署名台の活用、宣伝行動の時間短縮などの対策を講じた行動となりました。36人が参加、「コロナを改憲に利用するな」「いのちを守る政治に変えよう」などの横断幕やプラカードを掲げ訴えました。「自民党改憲4項目」の危険性を明らかにした総がかり行動実行委員会発行のリーフレットを配布しました。

1000人委員会の清水雅彦日体大教授、9条壊すな！実行委員会の高田健さん、憲法共同センターの今井誠さんらが、国会を直ちに開け、パラリンピックの中止の決断を、今こそ憲法を生かしたコロナ対策を、などと訴えました。

次回宣伝行動は9月16日、新宿駅西口で実施します。

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は**ウイメンズアクション**で8月4日、東京・有楽町イトシア前で、コロナ対策を講じつつ定例の宣伝・署名を取り組みました。アクションには19人が参加しました。「五輪よりも命が大事」などのプラカードを手にアピール。スピーチでは、『『自宅療養』を強い、命の選別をする政権は必ず交代させよう』『菅政権は何一つまともなコロナ対策をしていない。野党と市民が力を合わせ命を守る政府を選ぼう』と女性たちが次つぎ訴えました。

次回ウイメンズアクションの予定は9月10日。

東京 1000人委員会事務局長があいさつ 千鳥ヶ淵8・15集会

東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で8月15日、「**戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会**」が開催され、150人が参加しました。

戦争をさせない1000人委員会からは、事務局長の内田雅敏さんがあいさつしました。内田さんは「反戦平和の闘いは、例えてみればゴールのない駅伝のようなもの。各々がその託された期間を走り続け、次の世代に平和のタスキを手渡す、ゴールにたどり着ける人は稀、いやゴールそのものもない永久の連続運動だ」として、いまなお解決していない戦争被害に対する謝罪や賠償などの問題の解決に向け、取り組む決意を述べました。

東京 足立区に「九条の碑」設置へ 建立する会が記者会見

東京都足立区に「九条の碑」をと活動する「**『九条の碑』を建立する会**」は7月29日、同区内で記者会見を開き、「九条の碑」製作発表しました。会見にはゆかりのある伊藤千尋氏（九条の会世話人・ジャーナリスト）も同席し期待を述べました。

2020年1月の伊藤氏の講演をきっかけに同会が発足、取組みを進めてきました。

「碑」は、「球状」の建築物に9条が刻印されたモニュメントとして準備され、区内の医療法人から提供された民有地に設置される予定です。建立募金は目標300万円で、現在約半額が寄せられています。竣工は2022年春。都内初の「九条の碑」となります（現在国内には23基、海外にもあります）。

群馬 「新しい政治・政権を」昼休みデモ 群馬憲法共同センター

群馬県憲法共同センターは8月19日、前橋市内で菅政権強権政治に抗議する昼休みデモを行い、「新しい政治・政権をつくろう」などの横断幕やのぼり旗を掲げ市民に訴えました。65回目となった今回のデモには30人が参加しました。

デモ出発の集会では、安保健法違憲訴訟群馬弁護団の大塚武一弁護士や群馬県労働組合会議の石田清人副議長らが発言しました。

群馬 1市1町1村で市民と野党の共同宣伝行動 群馬4区の会

希望ある政権めざす群馬4区の会は8月1日、群馬県藤岡市、神流（かんな）町、上野村で、市民と野党の共同宣伝を行いました。

宣伝では、堀込康美元群馬県高教組委員長、伊藤祐司日本共産党県議、齋藤誠立憲民主党神流町議とともに、萩原貞夫日本共産党衆議院群馬4区候補、角倉邦良立憲民主党県議・4区総支部長らが訴えました。

新潟 市民連合が公開討論、シンポジウム 新潟市西蒲区、上越市

市民連合@新潟は8月14日、新潟市西蒲区で衆議院新潟2区（新潟市の一部、柏崎市、長岡市、佐渡市など）野党予定候補者の公開討論会を開催しました。

討論会には日本共産党・たいらあやこ氏、立憲民主党・高倉栄氏が参加、立候補の決意とともに、新型コロナ後の日本、原発、ジェンダー、政権交代をめざす野党共闘のあり方について見解を述べ意見を交わしました。

この中で原発について、たいら氏は、原発ゼロは可能であり、今すぐ廃炉、再生可能エネルギー推進への転換、野党が共同提案している「原発ゼロ基本法」を実現したいと訴えました。高倉氏は、原発労働者、立地住民に原発のない将来像の提示には時間を要すること、2030年代の早期に原発に依存しない社会の実現めざし、ロードマップを示したいと主張しました。会場の参加者からは、「野党は一つにまとまって、政権交代をさせたい」などの要望がだされました。

市民連合・上越は7月31日、シンポジウム「どう考える、新型コロナ・パンデミック下の菅政権」を上越市で開催しました。シンポには50人が参加、コロナ禍のもとで苦悩・苦闘する文化、医療、学生、飲食店の現場から市民が発言しました。

梅谷守立憲民主党第6区支部長（衆議院新潟6区予定候補）が基調報告、「消費税減税などとあわせ、10万円の一律給付や持続化給付金の支給を再度実施させよう、忖度政治を変えよう」と発言しました。

石川 五輪強行、いのち軽視の菅政権抗議 金沢市・なんぷアクション

金沢市内の安倍改憲NO！なんぷアクションは8月4日、同市平和町でオリンピック強行の菅政権に抗議するスタンディング宣伝を取り組みました。

「命と暮らしを守る。は政治の責任！」「政治をカエル」などの横断幕を掲げアピールしました。リレートークでは平和委員会の代表や医療機関の代表らが発言、「オリンピックをやっているのになぜ運動会はダメ？」との小学生の声を紹介し、「菅政権は危機を共有できていない」と批判、「自宅療養を基本」とする方針を批判し「国民の命をないがしろにする政権を一刻も早く終わらせよう。選挙は政治を変えるチャンス」などと訴えました。

通りかかった自動車の中から手を振り激励する姿もありました。

石川 隔週の「怒りの昼デモ」143回目にも 金沢市

石川県の石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法を守りいかす石川県共同センターは8月4日、金沢市で「怒りの昼デモ」を行いました。菅政権の退陣を求め、30人が参加しました。

市内繁華街を行進した参加者は、「平和憲法9条を守ろう！オリンピック中止で、コロ

ナ対策を！いのち最優先の政治に転換を」の横断幕を先頭に、アピールしました。

石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法を守りいかす石川県共同センターは8月18日、隔週水曜日に取り組んでいる「怒りの昼デモ」を行いました。通算143回目の行動となりました。この日の行動には30人が参加、横断幕とともに「戦争させない」などのパネルを掲げ、「パラリンピックは中止してコロナ対策に全力を」「菅政権NO！新しい政治を」などとコールし訴えました。

石川 オンライン併用で政策シンポジウム **いしかわ市民連合**

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める！いしかわ市民連合は8月1日、金沢市の会場とオンラインで県内各地をつないだ「いのちを守る政治の実現めざす政策シンポジウム」を開催しました。金沢市の会場には30人が参加しました。

伍賀一道金沢大学名誉教授による「コロナ禍における雇用と働き方の変容・貧困の実態—これにどう対抗するか」のオンライン講演、嵯峨猛県医労連書記長の医療・介護・福祉の現状の報告などを受け、質疑応答しました。司会を務めた五十嵐正博いしかわ市民連合共同代表・神戸大学名誉教授が「選挙権の行使は、自らの命と運命を決める権利、自分の生き方を託す政権を選ぶ権利だ。総選挙で政権交代を実現させよう」と呼びかけました。

愛知 平和の鐘つき今年も **一宮市萩原九条の会**

一宮市萩原町で活動する**萩原九条の会**が呼びかけた「平和の鐘つき」が8月6日、同町の正瑞寺で行われました。

愛知県では萩原町のほか、名古屋市中村区の西祐寺、碧南市、あま市などで「平和の鐘つき」が取り組まれました。8月6日の「平和の鐘つき」は、広島への原爆投下から76年のこの日、「二度とあってはならない」「政権交代で核禁条約参加」「子どもらに核なき世界を」の思いを込めて各地の寺院などの協力をえて、市民団体が取り組んでいるものです。

滋賀 高校生が描いた「原爆の図」展 **犬上郡豊里町・甲良町など**

滋賀県内各地で「ヒロシマの高校生が描いた『原爆の図』展」が開かれました。

豊郷9条の会と甲良9条を守る会は8月4～6日に甲良町で、7～8日には豊郷町で同展を開きました。この展示は、同県彦根市・ビバシティ彦根（8月18～23日）、長浜市えきまちテラス長浜（21～22日）でも行われました。

広島市立基町（もとまち）高校の生徒たちが市民から被爆体験を聞き取り、被爆の惨状を描き、広島平和記念資料館に収蔵されているもので、63点を借出し展示しました。

京都 京都府南部で「市民連合」結成 **京都6区**

衆議院京都6区（宇治市、城陽市、京田辺市など12自治体）で、市民や地方議員らが立憲野党の候補者の一本化を図ろうと「**京都6区市民連合**」が結成されました。スタート集会在8月7日京田辺市で開かれ、67人が参加しました。

集会では、呼びかけ人のあいさつ、パネルディスカッション、無所属議員らが発言しました。

大阪 ヒロシマの日スタンディング **大東市野崎駅周辺九条の会**

大東市のJR野崎駅を中心に活動する**野崎駅周辺九条の会**は8月6日早朝から駅前ですタンディング宣伝を行いました。この日の行動は通算212回目で、15人が参加しました。

参加者は横断幕をかかげ、召集令状を模した「赤紙」チラシなどを配布しました。ハンドマイクのリレートークでは、「五輪よりいのち守れ」、「安倍・菅改憲反対」、「憲法9条を守れ」、「核兵器禁止条約批准被爆者と国民の命守れ」、「政権交代を実現しよう」な

どが呼びかけられました。

岡山 17回目の九条美術展

岡山市

岡山九条美術展が8月3日から8日まで岡山市北区の県天神山文化プラザを会場に開催されました。

主催は岡山九条美術の会で、毎年広島、長崎の「原爆の日」前後に催しているもので、今年で17回目。絵画、写真、立体など45人が出品した約100点が展示されました。

主催者は「コロナ禍で多くの反対の声を無視してオリンピック開催が強行された。誰でも自由に表現できる九条美術展をこれからも続け、憲法を守り暮らしに生かす社会を実現したい」と語っています。

鳥取 市民と野党の合同街頭宣伝行動

鳥取市、米子市

鳥取市のJR鳥取駅北口前で7月31日、野党連合政権を実現しようと「市民と野党の合同街頭アピール」が取り組みました。

市民の発言とともに、岡田まさかず日本共産党衆議院鳥取1区候補、米村正一社民党県連合幹事長、中宇地節雄新社会党県本部書記長ら政党代表が、五輪中止、コロナ対策に全力、金権腐敗政治の掃、核兵器禁止条約の批准、辺野古新基地建設ストップなどを訴えました。

同県米子市では7月27日、「市民と野党の合同街頭宣伝」が行われました。宣伝では、政党から、湯原俊二立憲民主党元衆議院議員・県連副代表、又野史朗日本共産党米子市議、松本熙社民党県連合代表、中宇地節雄新社会党県本部書記長が訴えました。

徳島 憲法を守り生かそう 平和のための共同行動・九条の会徳島

九条の会徳島が呼びかけた「8・15 平和のための共同アピール」行動が8月15日、徳島駅前で行われました。

「共同アピール」では、徳島憲法懇、徳島人権・平和運動センターなど7団体の代表が訴えました。九条の会徳島の事務局のメンバー・遠藤理恵子弁護士は、「日本はかつて権力が暴走し、反対意見を弾圧し戦争に突き進んだ。その反省に立って日本国憲法が作られ、権力の暴走を抑え、国民の権利を守ってきた。しかし、自衛隊は、集団的自衛権行使容認や戦争法でアメリカとともに武力行使ができるよう変質させられた」と述べ、「この日に、戦争を振り返り、憲法の意義と生かすことを考えよう」と呼びかけました。

福岡 市民と野党の意見交換会

北九州市

北九州市の平和をあきらめない北九州ネットは8月7日、オンラインで衆議院福岡9区の候補者と市民の意見交換会を開きました。交換会には日本共産党・まじま省三比例候補（同区重複）と無所属・緒方林太郎前衆議院議員が参加、野党共闘についての考えを語りました。

参加者からは、選挙協力で市民ができることは何か、税制や地域の再生などの課題についての質問がだされ候補者と意見交換がされました。

大分 「戦心兵隊」上映 平和と映画の集い

県平和委員会

大分県平和委員会は8月15日、大分市で恒例の「平和と映画の集い」を開催しました。集いには30人が参加し、記録映画「戦心兵隊」とイラク、南スーダンへの自衛隊派兵を告発する記録映像を鑑賞しました。参加者が意見交換し、反戦・平和の思いを語り合いました。